

飼料に関するリスク回避の定量的評価の考え方（モデル2）

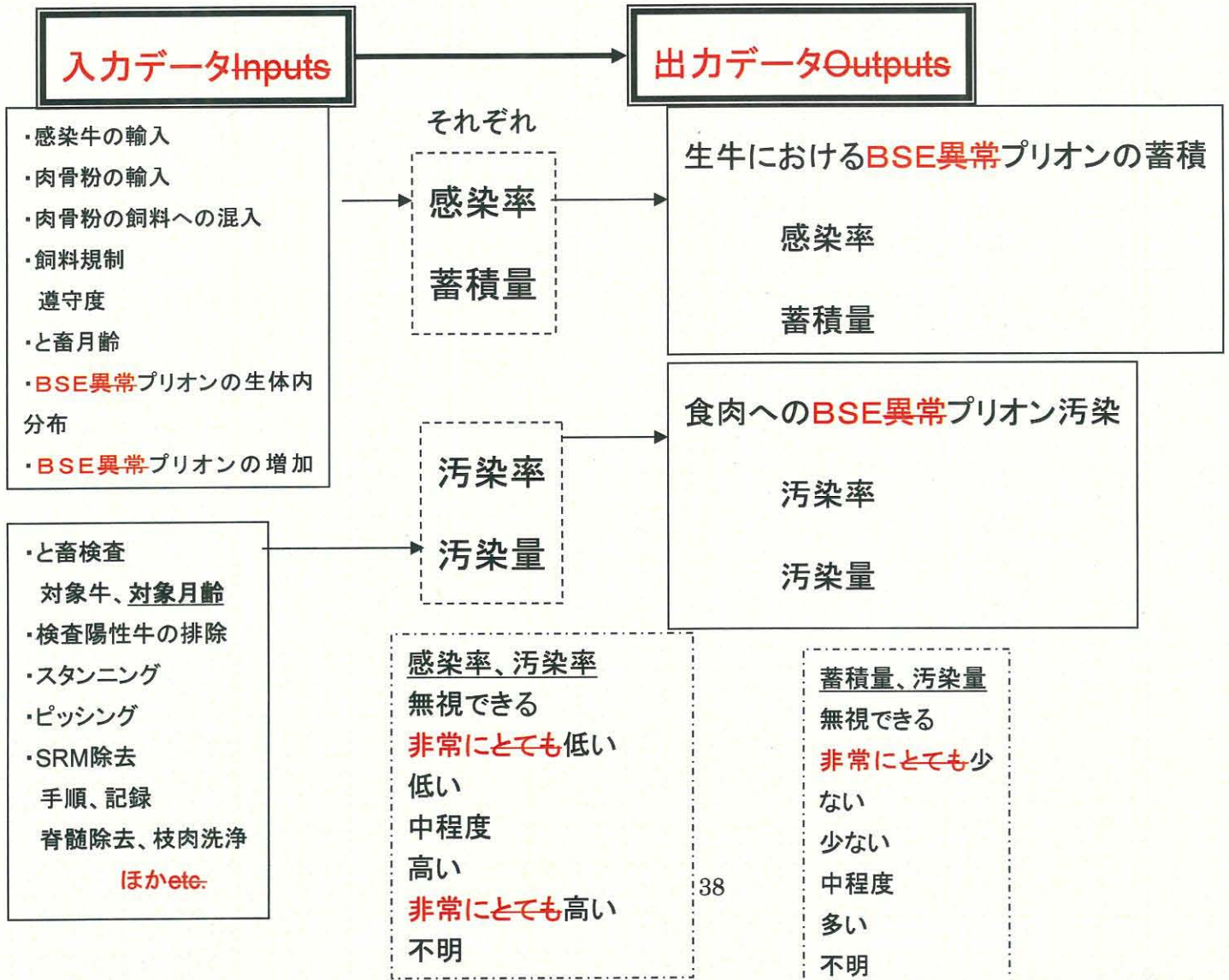
と畜場	化成場	飼料工場:国内飼料	リスクポイント	飼料工場:輸入飼料	リスクポイント加点
牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	1	牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	2	ライン分離	2
		混合	5	混合	5
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	5	牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	7	ライン分離	2
		混合	10	混合	5
	混合	牛と豚・鳥専用		牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	20	ライン分離	2
		混合		混合	5
ライン分離	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	7	牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	9	ライン分離	2
		混合	12	混合	5
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	9	牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	12	ライン分離	2
		混合	15	混合	5
	混合	牛と豚・鳥専用		牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	20	ライン分離	2
		混合		混合	5
混合	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用		牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離		ライン分離	2
		混合	20	混合	5
	ライン分離	牛と豚・鳥専用		牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	20	ライン分離	2
		混合		混合	5
	混合	牛と豚・鳥専用		牛と豚・鳥専用	1
		ライン分離	36	ライン分離	2
		混合	20	混合	5

飼料に関するリスク回避の定量的評価の考え方（モデル）

と畜場	化成場	飼料工場:国内飼料	リスクポイント	飼料工場:輸入飼料	リスクポイント加算
2001年10月以前 牛と豚・鳥専用 混合	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	1x0.1	牛と豚・鳥専用 混合	1x0.1
		混合	20x0.1		5x0.9
	混合	牛と豚・鳥専用 混合	20x0.8		22.7
2002年12月 牛由来SRM焼却 牛と豚・鳥専用 ライン分離	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用 混合	1x0.1 5x0.1	牛と豚・鳥専用 混合	1x0.1 5x0.9
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	10x0.2		16.2
2003年12月 牛由来SRM焼却 牛と豚・鳥専用 ライン分離	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用 ライン分離	1x0.1 2x0.1	牛と豚・鳥専用 混合	1x0.1 5x0.9
		ライン分離	牛と豚・鳥専用 ライン分離		10x0.2 12x0.6
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	1x0.2		
2004年12月 牛由来SRM焼却 牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	1x0.2	牛と豚・鳥専用 混合	1x0.1 5x0.9
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	10x0.4 12x0.4		13.6
飼料規制見直し 牛由来SRM焼却 牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	牛と豚・鳥専用	1x0.2	牛と豚・鳥専用 輸入飼料届出	1x1
	ライン分離	牛と豚・鳥専用	10x0.8		9.2

3. 2. 2 定性的リスク評価の具体的方法確率論に基づく定量的評価の考え方

①各入力データInput情報のランク付けと出力データOutputの判定



②データ間のギャップ、制約にかかわる問題点

Data Gaps, Limitations

- データの不足している点、限定されている点
 - (この部分を書き込む)
 -
- 入力データInput dataから出力データOutputsを順位付けランキングする客観的基準の欠落
- 不確実性Uncertainty, 変動性についてvariabilityの考慮不可
- 定量的評価、確率論的評価の必要性

③各入力データ Input 情報の

順位ランタ付け

入力データ Input 情報	出力データ Outputs-に対する影響の順位ランタ付け	
	感染率あるいは汚染率	蓄積量あるいは汚染量
生牛のBSE異常プリオン蓄積度に関する検討項目	感染牛の輸入 肉骨粉の輸入 肉骨粉の飼料への混入 飼料規制 飼料規制の遵守 と畜月齢 BSE異常プリオンの生体内分布 BSE異常プリオンの増加	
食肉のBSE異常プリオン汚染度に関する検討項目	と畜検査 対象牛 対象月齢 検査陽性牛の排除 スタンニング ピッシング SRM 除去 解体手順	

記録

脊髄除去、枝肉洗浄

カテゴリーの種類

感染率、汚染率:	無視できる、 非常にとても 低い、低い、中程度、高い、 非常にとても 高い、不明
蓄積量、汚染量:	無視できる、 非常にとても 少ない、少ない、中程度、多い、 非常にとても 多い、不明

上記の作業を結果に示した月齢区分ごとに3回繰り返す